

介護プロフェッショナル キャリア段位制度

プロフェッショナル
検定

レベル7

レベル6

レベル5

レベル4

レベル3

レベル2

レベル1

「実践キャリア・アップ戦略」
の推進により、
介護分野へ参入する人材を
増やします。

レベル認定の申請



施設・事業所内で評価を行う「アセッサー(評価者)」とは?

職員を評価するには、アセッサーが必要です

実践的スキルの評価について、施設・事業所内で評価を行う「アセッサー」を職員の中から選び、講習を受講していただく必要があります。

アセッサーは、プロレベル(レベル4以上)とされていますが、制度開始から3年間程度は、介護部門のリーダーとして一定の要件を満たせば、アセッサー講習を受講する要件を満たすこととしております。

※制度開始時点ではレベル4の認定を受けた方がいないため。



アセッサー講習を受講するためには要件があります

アセッサー講習を受講できる職員は、次の条件のうち一つを満たした方です。

要件	
1	介護福祉士として3年以上実務に従事した経験があり、かつ、介護福祉士実習指導者講習会を修了した者(介護福祉士養成実習施設実習指導者IIの要件を満たす者)
2	介護福祉士等の資格を得た後10年以上実務に従事した経験等を有する者(実技試験に係る介護福祉士試験委員の要件を満たす者)
3	介護福祉士等の資格を得た後5年以上実務に従事した経験等を有し、介護技術講習指導者養成講習を修了した者(介護技術講習指導者の指導者の要件を満たす者)
4	サービス提供責任者・主任等(チームやユニットを管理運営し、部下に対して指導・助言を行う役職に就いている者)または、介護部門のリーダー(課長(係長)・フロアリーダー等)

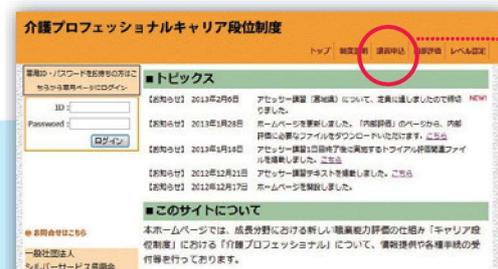
アセッサー講習の受講～登録までの流れは次のとおりです



※原則、講習の受講を希望するご本人が事業所・施設の了承を得た上で申請を行っていただきます。

受講申請は専用HPから
<http://careprofessional.org>

※HP上で申請受付後、必要書類提出について事務局からメールを送付します。
 ※PC環境やメールアドレスがない等の場合、事務局にお問い合わせください。



こちらをクリック



段位の評価は どうやって行うの？

■ レベル認定は、「できる」と「わかる」の両面から行われます

できる (実践的スキル)	介護サービスを提供している事業所・施設において、一定の要件を満たした「アセッサー」が、介護職員の日頃の仕事の様子や業務の記録等を見て評価することとしています
わかる (知識)	原則として、介護福祉士養成課程、介護初任者研修等の講義を修了したことで評価することとしています

■ 「できる(実践的スキル)」の評価基準

○評価基準は、次のような構成になっています。

大項目>中項目>小項目>チェック項目で構成

大項目	基本介護技術の評価	利用者視点での評価	地域包括ケアシステム &リーダーシップ
中項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 入浴介助 ● 食事介助 ● 排泄介助 ● 移乗・移動・体位変換 ● 状況の変化に応じた対応 	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者・家族とのコミュニケーション ● 介護過程の展開 ● 感染症対策・衛生管理 ● 事故発生防止 ● 身体拘束廃止 ● 終末期ケア 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域包括ケアシステム ● リーダーシップ 

○各中項目はいくつかの小項目で構成されており、小項目はさらに細かいチェック項目で構成されています。

■ 「わかる(知識)」の評価基準

レベル認定を受けることができる職員は、次の「わかる(知識)」の評価基準を満たしている必要があります。

レベル	要件
レベル4	介護福祉士であること(国家試験合格) ※介護福祉士養成施設卒業者について、国家試験の義務付け前においては、介護福祉士養成課程修了によりレベル4とする
レベル3	介護福祉士養成課程又は実務者研修修了 ※介護職員基礎研修修了でも可
レベル2	レベル1と同様
レベル1	介護職員初任者研修修了 ※ホームヘルパー2級研修又は1級研修修了も含む。



レベル認定の申請は どうやって行うの？

■ レベル認定の申請～認定までの流れは次のとおりです

- キャリア段位の取得を希望する職員は、アセッサーによる評価結果とともに所定の申請書類を事務局に提出し、レベル認定の申請を行います。

- 申請内容を事務局で審査し、有職者からなるレベル認定委員会の承認を経て、レベル認定が行われます。



実践的スキルの
評価

アセッサー



レベル認定の
申請

職員



申請書類の
審査

事務局



申請内容の承認・
レベル認定

レベル認定
委員会



レベル認定へ
ご参加を
お待ちしております。

- ご不明な点は事務局までお問い合わせください

一般社団法人 シルバーサービス振興会 TEL: **03-5402-4882**

〒105-0003 東京都港区西新橋3-25-33 NP御成門ビル6階

e-mail: careprofessional@espa.or.jp

電話受付10:00～17:00(土日祝休)

介護プロフェッショナル
キャリア段位制度専用ホームページ

<http://careprofessional.org>



キャリア段位制度の概要



キャリア段位制度とは？

企業や事業所ごとにバラバラに行われている職業能力評価に、「キャリア段位制度」という共通のものさしを導入する事で、成長分野における人材育成を目指します。

- これまでの資格制度で不足していた「実際にその現場で何ができるのか」という部分を補うため、「わかる(知識)」と「できる(実践的スキル)」の両面を評価します。
- エントリーレベルからプロレベルまで、7段階でレベル認定を行います(キャリア段位)。
- 介護プロフェッショナルでは、まずレベル1からレベル4について基準をつくり、レベル認定を行います。

	分野共通の考え方	介護プロフェッショナル
レベル7	その分野を代表するトップ・プロフェッショナルの段階	
レベル6		<ul style="list-style-type: none"> ○多様な生活障害をもつ利用者に質の高い介護を実践 ○介護技術の指導や職種間連携のキーパーソンとなり、チームケアの質を改善
レベル5	プロのスキルに加えて、特定の専門分野・業種における更に高度な専門性を持つ、あるいは、その人の独自の方法が顧客等から認知・評価されている段階	
レベル4	一人前の仕事ができることに加え、チーム内でリーダーシップを発揮することができる段階	<ul style="list-style-type: none"> ○チーム内でのリーダーシップ(例:サービス提供責任者、主任等) ○部下に対する指示・指導 ○本レベル以上が「アセッサー」になれる
レベル3	指示等がなくても、一人前の仕事ができる段階	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の状態像に応じた介護や他職種の連携等を行うための幅広い領域の知識・技術を習得し、的確な介護を実践
レベル2	一定の指示のもとに、ある程度の仕事ができる段階	<ul style="list-style-type: none"> ○一定の範囲で、利用者ニーズや、状況の変化を把握・判断し、それに応じた介護を実践 ○基本的な知識・技術を活用し、決められた手順等に従って、基本的な介護を実践
レベル1	エントリーレベル 職業準備教育を受けた段階	<ul style="list-style-type: none"> ○初任者研修により、在宅・施設で働く上で必要となる基本的な知識・技術を修得



キャリア段位制度ができると、職員・事業所にとって何が変わるの？

職員



- 現場で何ができるかを証明できます
- 評価を受ける中で、自身の介護技術を見直すことができます
- やりがいや処遇改善の材料につながります
- 転職の際のデメリットを軽減できます

事業所

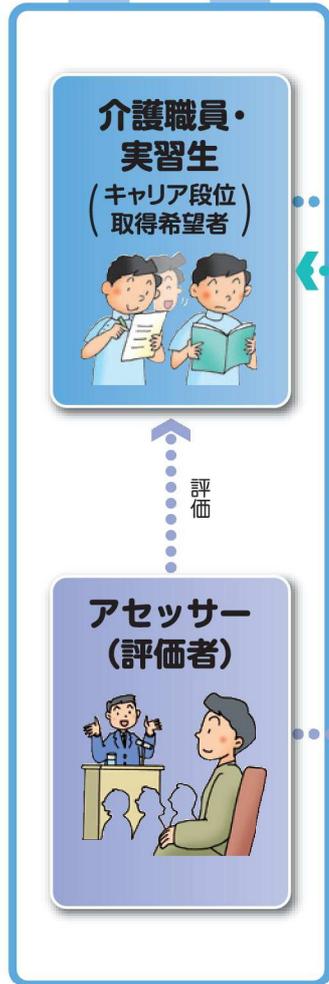


- サービス水準をアピールできます
- 評価を職員へのOJTとして活用できます
- 職員のやりがい等を引き出し、定着率の向上につながります
- 新規採用時に応募者の能力が明確になります



キャリア段位制度のしくみとは？

介護事業所・施設



実施機関 (シルバーサービス振興会)



国 (内閣府)



- 職員の評価を行うため、施設・事業所内でアセッサー(評価者)を選び、アセッサー講習を受講します。
- アセッサーは、業務を通じて職員の実践的スキルを評価します。
- 評価を受けた職員はレベル認定委員会にレベル認定を申請し、認定を受けます。

※詳細は裏面の解説をご覧ください。

